

生徒の皆さん、タブレットを活用した授業をお楽しみに！

5月16日(月)、江谷一先生(県庁義務教育課主任指導主事)、屋宜勝(同課指導主事)を招聘し、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けたタブレットの活用」をテーマに、校内研修(先生方の勉強会)を実施しました。本研修のねらいは、学校にある **ICT 環境を活用し、生徒の学び方と、教師の働き方を変革する「沖縄教育 DX」を推進する**ことを目的としています。一人1台タブレットが、全校生徒830人830通りの学びを保障するツールとなり、生徒の学びをファシリテートする **令和の日本型教育「個別最適な学び・協働的な学び」**の実現に向けて、先生方も勉強会を開き、奮闘しています！生徒の皆さん、タブレットを使った授業をお楽しみに！



図1 先生方がタブレットを活用した授業を体験

先生インタビュー『今日の研修はどうでしたか？何を学ぶことができましたか？』

(池田晴菜先生：社会科)【協働的な学び】

他学年の先生方と交流し、他教科の先生のICT活用の取組が共有できたので刺激を受けた。積極的に使いたい！

(金城久徳先生：体育科)【個別最適な学び】

生徒がタブレットを使って予習し(家庭学習)、お手本となる実技動画を視聴して授業に臨むことで、実技の時間を多く確保でき、生徒は自分の能力に応じた学びが実現できることがわかった。チャレンジしてみたい！

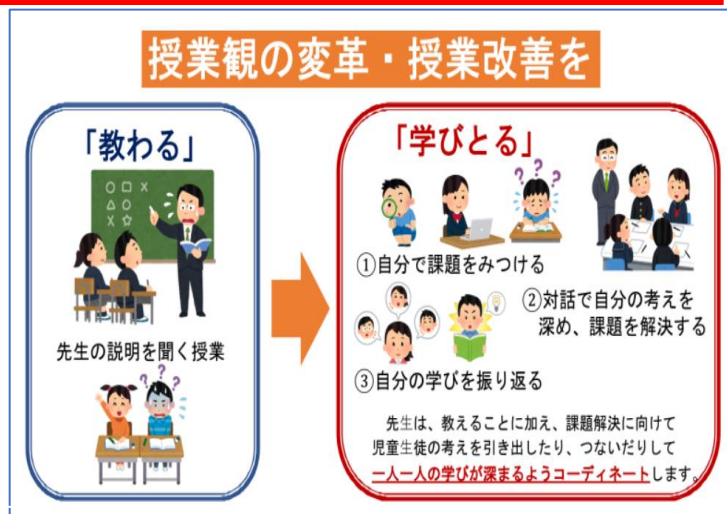


図2 自立した学習者の育成を目指して、ICTを活用し、生徒が「学びとる」授業へ変革します。



図3 4人グループで情報交換した後、代表で白玉先生が発表し、全体共有する(授業と同じ)